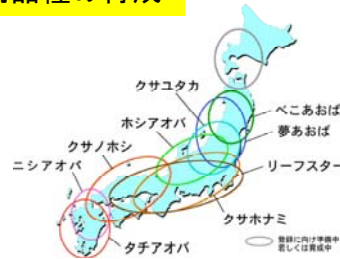


# 稲発酵粗飼料を用いた肉用牛の飼養技術を開発

稲発酵粗飼料は、水田機能を維持しながら稲の生産技術を活かして飼料生産を行うことが可能です。稲発酵粗飼料は、嗜好性が良く、繁殖牛や育成牛に適した粗飼料です。

また、良質な稲発酵粗飼料はビタミンEを豊富に含んでいるので、肥育牛に食べさせることによって牛肉の鮮度保持が期待できます。

## 飼料イネ専用品種の育成



- 夢あおば, クサユタカ : 中央農業総合研究センター北陸研究センター
- リーフスター, クサホナミ : 作物研究所
- ベこあおば : 東北農業研究センター
- クサノホシ, ホシアオバ : 近畿中国四国農業研究センター
- ニシアオバ, タチアオバ : 九州沖縄農業研究センター

## 育成牛(3~8カ月齢)

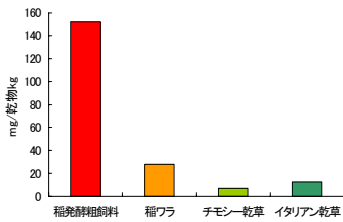


稲発酵粗飼料で高い増体と購入粗飼料の節約

## 稲発酵粗飼料



良好な発酵品質を得るため、乳酸菌「畜草1号」で調整



稲発酵粗飼料はビタミンE含量が高い

## 肥育牛(9~28カ月齢)



28カ月齢で800kgを越え成長が早い(交雑種)

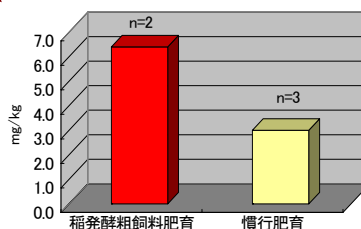


稲発酵粗飼料を給与した牛肉(黒毛和種で枝肉等級A4)

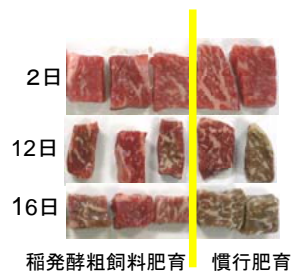
## 繁殖牛(成雌牛)



稲発酵粗飼料で一年一産を達成



稲発酵粗飼料の給与により抗酸化機能を有するビタミンEが牛肉へ蓄積する



ビタミンEの抗酸化機能により肉色を保持する

Whole crop rice silage(WCRS) can be produced using the existing facilities for edible paddy rice and have an advantage to maintain paddy fields. WCRS is palatable and suitable feed for breeding and raising cattle. WCRS contains a lot of vitamin E. Beef cattle fed WCRS is expected to produce meat that is able to prevent the oxidation of beef fat and keep the flesh meat color.